

2022年度 第8回日本建築学会東北支部建築デザイン発表賞 選考報告

選考委員長 櫻井 一弥

1. 応募講演

5 講演

2. 選考経過

2-1 建築デザイン発表会

2022年6月19日(日) 11:00~11:55

於: Zoom によるオンライン発表

今回は、昨年、一昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、みちのくの風2022がオンライン開催となったことに伴い、建築デザイン発表会もZoomを用いたオンライン開催となった。

応募5講演について、Zoomの画面共有機能を用いた発表が行われた。限られた発表時間の中でそれぞれのコンセプトが紹介されるとともに、活発な質疑回答が行われた。発表会は滞りなく進められた。時間厳守にご協力いただいた発表者各位、聴講者各位に感謝申し上げたい。

2-2 選考委員会

2022年6月19日(日) 12:00~12:30

於: Zoom によるオンライン会議

発表全体を聴講した建築デザイン教育部会の部会員4名(下記参照)で、建築デザイン発表賞にふさわしい講演を選出することとした。

内規に従い、計5件の講演より1つの講演を選出することを確認し、部会員相互で協議した。様々なタイプのプロジェクトがある中で、どのように賞を選出するか、議論が難しかったが、最終的にはそれぞれのプロジェクトを多角的な視点から評価し、議論を通して決定することとした。

その際、内規に記載の通り、建築デザイン発表会を欠席する部会員には事前に講演梗概を開示し、賞にふさわしい候補を挙げてもらうこととしていたが、欠席の部会員からは特に候補が挙がらなかったため、選考委員会に出席の部会員の意見で決定した。

結果、次節に示す講演に第8回建築デザイン発表賞を授与することとした。

選考委員長: 櫻井 一弥 (建築デザイン教育部会長、東北学院大学)

選考委員: 小地沢将之 (建築デザイン教育部会幹事、宮城大学)

大沼 正寛 (東北工業大学)

馬渡 龍 (八戸工業高等専門学校)

3. 選考結果

第8回日本建築学会東北支部建築デザイン発表賞 1点

「福島県いわき市医療センターのプログラム設計(4)

-開業以降の経営課題と諸問題に向けて」(E-4)

湯本 長伯 (社会構造設計研究所)

4. 講評

「福島県いわき市医療センターのプログラム設計(4) -開業以降の経営課題と諸問題に向けて」

福島県いわき市医療センターの建替えに伴うプログラム設計に関する、過程報告の第4報である。

築後40年近い老朽化した施設に対する早期建替えの要請が高まる中、建設物価の高騰や立地計画に対する地域住民同意の困難性などを踏まえ、現地建替えとなった本施設において、省エネによるコスト削減と災害時の事業継続、さらに外部専門能力の活用という観点から、ESP（エネルギー・サービス・プロバイダー）方式を導入した経緯が示されている。最も特徴的なのは、同敷地内の使わなくなった病棟を利用して、新規に整備した病室と同じ意匠・設備のモデル病室を作り、実際の使い勝手などを検討しているところである。

プロジェクト全体のプロセス設計と病院のプログラム設計という実務の紹介に留まらず、上記のモデル病室の整備によってPOE（post occupancy evaluation = 入居後評価）の実施可能性を探っている部分は、非常にユニークな視点である。

選考委員会では、そうした部分が高く評価され、今回の賞に選出された。

以上